

日本心理学会 大学における心理学教育調査

単純集計表

■ 調査の目的 ■

この調査は、公益社団法人日本心理学会が、日本における心理学教育の一層の充実のために、また、心理学教育の国際間比較のために、全国の大学の心理学関連のカリキュラム、教員などを調査したものです。

調査の目的は大きく分けて1つあります。まず1つは国際比較データを得ることです。そのため、国際心理科学連合（IUPsyS）の調査およびアメリカ心理学会（APA）の基準に合わせた項目を用意しました。もう1つは、公認心理師の国家資格化を経て変革しつつある日本の心理学教育の現状を捉えることです。そのため、前述項目に加えて、日本の実情に合わせた本学会独自の項目を用意しました。

ここでは、調査結果を会員の皆様にフィードバックするために、単純集計表の形で公開します。いただいた回答および自由記述で寄せられたご意見は、さらに分析をおこない、日本における心理学教育充実のために、学会として役立てます。

多大なる時間を割いてご回答にご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

公益社団法人日本心理学会

調査概要

実施期間：2019年7月～11月

媒体：Web回答あるいはWord/PDFファイルダウンロード・記入によるメール/郵送回答

送付数：780大学888部局

回答数：316大学338部局（Web179、メール/郵送159）

回答率：41%（大学）／38%（部局）

参考資料

[調査のご案内](#)

[第1回調査（2013年12月から2015年5月） 単純集計表](#)

調査項目

1. 大学の形態（大学院大学を含む）
2. 大学で心理学教育をおこなっている課程，名称，専任教員数
3. 部局の専任教員の職位の内訳，および任期付き教員数
4. 公認心理師カリキュラムへの対応状況
5. 心理学教育カリキュラムの必修科目・選択科目
6. 心理学教育において，卒業，修了までに身につけるべきだと考えるスキルや能力
7. 授業の実施形態
8. 取得できる資格
9. 学生数，女性・留学生の割合
10. 卒業生・修了生の進路（心理学の専門を生かした職に就いた学生の割合）
11. 部局の心理学教育のカリキュラムの特長（本報告書には含まれていない）
12. 部局の心理学教育の課題等（本報告書には含まれていない）

詳細は[調査票 \(PDF\)](#) をご参照ください。

単純集計表

1. 大学の形態（大学院大学を含む）

国立大学	公立大学	私立大学	その他	計
63	24	200	3	290

2. 大学で心理学教育をおこなっている課程, 名称, 専任教員数

・大学形態別にみた、心理学課程設置数

	学士課程	修士課程	博士課程	その他
国立大学 (n=63)	54	49	29	2
公立大学 (n=24)	16	6	6	10
私立大学 (n=200)	181	101	55	23
その他 (n=3)	1	0	0	2
計	252	156	90	37

・大学形態別にみた1大学当たりの平均専任教員数

(a)学士課程

	学士課程
国立大学 (n=53)	9.43
公立大学 (n=15)	3.60
私立大学 (n=176)	9.36
その他 (n=0)	—
平均	7.47

(b)修士課程

	修士課程
国立大学 (n=54)	8.70
公立大学 (n=7)	4.57
私立大学 (n=99)	10.52
その他 (n=0)	—
平均	7.93

(c)博士課程

	博士課程
国立大学 (n=29)	10.86
公立大学 (n=6)	3.17
私立大学 (n=54)	8.37
その他 (n=0)	—
平均	7.47

(d)その他

	その他
国立大学 (n=5)	8.80
公立大学 (n=8)	1.63
私立大学 (n=21)	4.19
その他 (n=2)	9.00
平均	5.90

3. 所属大学の形態別にみた、日本の大学における職階別心理学教員数

学士課程 N=252 有効回答数=238

大学の形態	教授	准教授	講師	助教	その他	計	
国立大学 (n=52)	236 51.8%	156 34.2%	18 3.9%	43 9.4%	3 0.7%	456	21.9%
公立大学 (n=14)	26 52.0%	21 42.0%	2 4.0%	0 0.0%	1 2.0%	50	2.4%
私立大学 (n=172)	829 52.6%	411 26.1%	178 11.3%	90 5.7%	68 4.3%	1576	75.7%
その他 (n=0)	—	—	—	—	—	—	—
計	1091	588	198	133	72	2082	100.0%

修士課程 N=163 有効回答数=160

大学の形態	教授	准教授	講師	助教	その他	計	
国立大学 (n=54)	248 51.1%	166 34.2%	28 5.8%	42 8.7%	1 0.2%	485	32.0%
公立大学 (n=7)	17 94.4%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	18	1.2%
私立大学 (n=99)	630 62.1%	264 26.0%	72 7.1%	25 2.5%	23 2.3%	1014	66.8%
その他 (n=0)	—	—	—	—	—	—	—
計	895	430	101	67	24	1517	100.0%

博士課程 N=91 有効回答数=88

大学の形態	教授	准教授	講師	助教	その他	計	
国立大学 (n=29)	165 50.8%	111 34.2%	11 3.4%	37 11.4%	1 0.3%	325	42.5%
公立大学 (n=6)	13 68.4%	6 31.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	19	2.5%
私立大学 (n=53)	341 81.0%	57 13.5%	12 2.9%	5 1.2%	6 1.4%	421	55.0%
その他 (n=0)	—	—	—	—	—	—	—
計	519	174	23	42	7	765	100.0%

第2回「大学における心理学教育調査」報告書（教育研究委員会・調査小委員会）

その他		N=40		有効回答数=37			
大学の形態	教授	准教授	講師	助教	その他	計	
国立大学 (n=5)	18 40.0%	22 48.9%	3 6.7%	1 2.2%	1 2.2%	45	28.7%
公立大学 (n=9)	4 40.0%	5 50.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	10	6.4%
私立大学 (n=21)	42 50.0%	22 26.2%	12 14.3%	3 3.6%	5 6.0%	84	53.5%
その他* (n=2)	6 33.3%	7 38.9%	2 11.1%	3 16.7%	0 0.0%	18	11.5%
計	70	56	18	7	6	157	100.0%

*その他には，短期大学などが含まれる。

4-B. 設置形態別・**学士課程**の公認心理師カリキュラムへの対応状況

N=252

大学の形態	対応している	対応予定である	対応を検討している	対応する予定がない	その他/欠損値	計
国立大学 (n=54)	29	1	1	20	3	54
公立大学 (n=16)	3	0	0	12	1	16
私立大学 (n=181)	99	1	9	65	7	181
その他 (n=1)	0	0	0	0	1	1
計	131	2	10	97	12	252

4-M. 設置形態別・**修士課程**の公認心理師カリキュラムへの対応状況

N=163

大学の形態	対応している	対応予定である	対応を検討している	対応する予定がない	その他/欠損値	計
国立大学 (n=55)	24	3	2	22	4	55
公立大学 (n=7)	3	0	0	1	3	7
私立大学 (n=101)	70	3	3	20	5	101
その他 (n=0)	—	—	—	—	—	—
計	97	6	5	43	12	163

※1.国立大学では約半数が対応済み・対応予定である。

※2.私立大学では学士課程では約半数，修士課程では7割以上が対応済み・対応予定である。

5-B1. **学士課程**の心理学教育カリキュラムにおいて実施されている**必修科目**数

N=252

科目名	国立大学 (n=54)	公立大学 (n=16)	私立大学 (n=181)	その他/欠損値 (n=1)	計
一般教養	34	4	93	1	132
心理学概論	23	1	98	1	123
心理学史	2	0	6	1	9
感覚・知覚心理学	8	0	18	1	27
認知心理学	13	1	25	1	40
学習心理学	13	0	23	1	37
発達心理学	14	2	45	1	62
生理/神経心理学	8	0	18	1	27
比較/動物心理学	0	0	5	1	6
社会心理学	13	1	32	1	47
家族心理学	9	0	17	1	27
個人差心理学	1	0	0	1	2
パーソナリティ/性格心理学	8	0	20	1	29
心理統計学, データ解析	25	2	73	1	101
心理学研究法	25	2	72	1	100
心理学実験実習	31	1	72	1	105
コンピュータ実習	14	4	59	1	78
心理学的アセスメント	9	1	30	1	41
精神病理学/異常心理学	5	0	19	1	25
臨床心理学/心理療法/カウンセリング	14	1	52	1	68
臨床心理学実習	2	0	20	1	23
障害者(児)心理学	6	0	19	1	26
産業・組織心理学	4	0	17	1	22
教育/学校心理学	18	3	36	1	58
犯罪/司法心理学	5	0	15	1	21
健康心理学	3	0	17	1	21
文化心理学	3	0	1	1	5
環境心理学	0	0	3	1	4
スポーツ心理学	1	0	2	1	4
老年心理学	0	0	8	1	9
心理学専門家倫理	1	0	7	1	9
研究プロジェクト	9	1	24	1	35
卒業・修士論文	41	8	106	1	156
インターンシップ	6	1	6	1	14
日本独自の心理学	0	0	3	1	4

5-B2. **学士課程**の心理学教育カリキュラムにおいて実施されている**選択科目**数

N=252

科目名	国立大学 (n=54)	公立大学 (n=16)	私立大学 (n=181)	その他/欠損値 (n=1)	計
一般教養	10	7	76	1	94
心理学概論	19	9	62	1	91
心理学史	4	0	33	1	38
感覚・知覚心理学	25	3	85	1	114
認知心理学	30	5	98	1	134
学習心理学	29	4	97	1	131
発達心理学	28	7	112	1	148
生理/神経心理学	20	5	88	1	114
比較/動物心理学	9	1	44	1	55
社会心理学	31	7	109	1	148
家族心理学	12	4	85	1	102
個人差心理学	2	1	13	1	17
パーソナリティ/性格心理学	20	4	92	1	117
心理統計学, データ解析	19	6	60	1	86
心理学研究法	18	5	63	1	87
心理学実験実習	17	5	62	1	85
コンピュータ実習	13	3	47	1	64
心理学的アセスメント	22	4	82	1	109
精神病理学/異常心理学	17	3	74	1	95
臨床心理学/心理療法/カウンセリング	24	5	98	1	128
臨床心理学実習	19	2	76	1	98
障害者(児)心理学	23	5	97	1	126
産業・組織心理学	18	4	104	1	127
教育/学校心理学	22	9	113	1	145
犯罪/司法心理学	19	3	90	1	113
健康心理学	12	3	87	1	103
文化心理学	8	1	24	1	34
環境心理学	4	2	23	1	30
スポーツ心理学	7	1	34	1	43
老年心理学	6	2	45	1	54
心理学専門家倫理	10	2	50	1	63
研究プロジェクト	9	6	39	1	55
卒業・修士論文	5	2	46	1	54
インターンシップ	9	3	65	1	78
日本独自の心理学	1	0	10	1	12

5-M1. **修士課程**の心理学教育カリキュラムにおいて実施されている**必修科目**数

N=163

科目名	国立大学 (n=55)	公立大学 (n=7)	私立大学 (n=101)	その他/欠損値 (n=0)	計
一般教養	2	2	5	—	9
心理学概論	3	1	2	—	6
心理学史	1	0	6	—	7
感覚・知覚心理学	12	1	18	—	31
認知心理学	24	2	44	—	70
学習心理学	23	0	28	—	51
発達心理学	21	5	54	—	80
生理/神経心理学	7	1	37	—	45
比較/動物心理学	4	0	9	—	13
社会心理学	24	3	51	—	78
家族心理学	11	1	45	—	57
個人差心理学	1	0	5	—	6
パーソナリティ/性格心理学	11	1	11	—	23
心理統計学, データ解析	19	2	46	—	67
心理学研究法	18	1	44	—	63
心理学実験実習	6	0	8	—	14
コンピュータ実習	3	0	7	—	10
心理学的アセスメント	14	2	32	—	48
精神病理学/異常心理学	2	0	5	—	7
臨床心理学/心理療法/カウンセリング	11	1	51	—	63
臨床心理学実習	20	5	41	—	66
障害者(児)心理学	12	1	24	—	37
産業・組織心理学	14	1	53	—	68
教育/学校心理学	11	2	48	—	61
犯罪/司法心理学	23	3	57	—	83
健康心理学	16	2	49	—	67
文化心理学	10	2	34	—	46
環境心理学	3	0	5	—	8
スポーツ心理学	1	0	5	—	6
老年心理学	2	0	6	—	8
心理学専門家倫理	4	1	21	—	26
研究プロジェクト	5	0	17	—	22
卒業・修士論文	5	0	15	—	20
インターンシップ	4	0	10	—	14
日本独自の心理学	10	0	12	—	22

5-M2. **修士課程**の心理学教育カリキュラムにおいて実施されている**選択科目数**

N=163

科目名	国立大学 (n=55)	公立大学 (n=7)	私立大学 (n=101)	その他/欠損値 (n=0)	計
一般教養	2	2	2	—	6
心理学概論	0	0	3	—	3
心理学史	0	0	0	—	0
感覚・知覚心理学	1	0	1	—	2
認知心理学	3	0	5	—	8
学習心理学	4	0	5	—	9
発達心理学	4	0	9	—	13
生理/神経心理学	3	0	5	—	8
比較/動物心理学	0	0	0	—	0
社会心理学	4	0	7	—	11
家族心理学	3	0	7	—	10
個人差心理学	0	0	0	—	0
パーソナリティ/性格心理学	1	0	1	—	2
心理統計学, データ解析	7	0	7	—	14
心理学研究法	8	0	14	—	22
心理学実験実習	1	0	3	—	4
コンピュータ実習	0	0	2	—	2
心理学的アセスメント	11	0	31	—	42
精神病理学/異常心理学	2	0	2	—	4
臨床心理学/心理療法/カウンセリング	5	0	10	—	15
臨床心理学実習	13	1	34	—	48
障害者(児)心理学	10	1	39	—	50
産業・組織心理学	4	0	8	—	12
教育/学校心理学	4	0	9	—	13
犯罪/司法心理学	7	0	9	—	16
健康心理学	4	2	11	—	17
文化心理学	4	0	9	—	13
環境心理学	0	0	0	—	0
スポーツ心理学	0	0	1	—	1
老年心理学	0	0	0	—	0
心理学専門家倫理	0	0	3	—	3
研究プロジェクト	2	1	8	—	11
卒業・修士論文	7	1	12	—	20
インターンシップ	37	5	80	—	122
日本独自の心理学	8	1	22	—	31

※前回との比較

- ・学士、修士課程共に必修の科目数が増加し、選択科目の数が減少している。
- ・産業や司法の分野は大きく増加している。
- ・感覚・知覚・生理など基礎心理学の科目、また、実習が必修化されている。

6. 心理学教育でのスキル—大学教育の種類ごとの重要性評定の頻度

(a) 学士課程

	国立大学(n=54)			公立大学(n=16)			私立大学(n=181)		
	重要度			重要度			重要度		
	0	1	2	0	1	2	0	1	2
1 心理学の基礎的概念や主要な理論を理解する	3.7%	81.5%	14.8%	12.5%	43.8%	43.8%	8.3%	69.6%	22.1%
2 心理学の理論と方法論の発展を理解する	16.7%	51.9%	31.5%	25.0%	37.5%	37.5%	18.2%	50.8%	30.4%
3 人々は多様であり、心の働きが集団や文脈によって異なることを理解する	13.0%	55.6%	31.5%	18.8%	31.3%	50.0%	14.9%	48.6%	36.5%
4 個人・社会における心理・行動の理解や問題解決に、個人的経験や疑似科学ではなく、心理学の概念や理論を用いる	13.0%	64.8%	22.2%	6.3%	37.5%	56.3%	16.6%	52.5%	30.9%
5 人が陥りやすい誤りやバイアスの種類(確証バイアス, 相関と因果の混同など)を学び、それに陥らない批判的思考を行う	22.2%	59.3%	18.5%	18.8%	25.0%	56.3%	19.9%	39.8%	40.3%
6 変数の操作的定義に基づいた検証可能な研究仮説をつくる	14.8%	63.0%	22.2%	31.3%	18.8%	50.0%	27.6%	39.2%	33.1%
7 心理学的な根拠が明確な先行文献を検索する	11.1%	74.1%	14.8%	31.3%	31.3%	37.5%	27.6%	44.2%	28.2%
8 心理学の日本語専門雑誌論文を読む	13.0%	72.2%	14.8%	25.0%	31.3%	43.8%	28.7%	43.1%	27.6%
9 心理学の英語専門雑誌論文を読む	14.8%	33.3%	51.9%	37.5%	12.5%	50.0%	42.5%	7.2%	50.3%
10 実験や調査結果の表やグラフを作成する, 読み取る	9.3%	75.9%	14.8%	18.8%	37.5%	43.8%	19.9%	60.2%	19.9%
11 推測統計(t検定, F検定等)を理解し, 分析をする	11.1%	72.2%	16.7%	25.0%	31.3%	43.8%	22.1%	46.4%	31.5%
12 多変量解析(因子分析など)を理解し, 分析をする	24.1%	37.0%	38.9%	31.3%	25.0%	43.8%	30.9%	13.3%	55.8%
13 実験研究を, そのデザインや測定の妥当性について理解した上で実施する	13.0%	61.1%	25.9%	31.3%	25.0%	43.8%	26.1%	37.8%	36.1%

(次ページに続く)

第2回「大学における心理学教育調査」報告書（教育研究委員会・調査小委員会）

	国立大学(n=54)			公立大学(n=16)			私立大学(n=181)		
	重要度			重要度			重要度		
	0	1	2	0	1	2	0	1	2
14 アンケート調査を立案し、実施、分析する	14.8%	53.7%	31.5%	25.0%	25.0%	50.0%	20.4%	37.6%	42.0%
15 研究に必要なITスキル(コンピュータ活用能力)を身につける	16.7%	51.9%	31.5%	31.3%	37.5%	31.3%	23.2%	43.6%	33.1%
16 証拠に基づいてレポートを論理的にまとめる	9.3%	81.5%	9.3%	18.8%	37.5%	43.8%	19.9%	60.8%	19.3%
17 議論や発表のためのコミュニケーションスキルを身につける	9.3%	70.4%	20.4%	18.8%	43.8%	37.5%	20.4%	53.0%	26.5%
18 『心理学研究』など学会誌の執筆要項に基づき論文を書く	30.2%	35.8%	34.0%	43.8%	18.8%	37.5%	39.8%	23.8%	36.5%
19 APAマニュアルに基づく英語論文を書く	59.3%	7.4%	33.3%	68.8%	0.0%	31.3%	69.6%	0.0%	30.4%
20 心理学の知識を自己理解や自己管理、自分の成長に生かす	27.8%	37.0%	35.2%	31.3%	18.8%	50.0%	22.1%	42.5%	35.4%
21 心理学の知識と経験を、自身の進路、キャリア開発に活用する	27.8%	31.5%	40.7%	37.5%	18.8%	43.8%	21.0%	37.0%	42.0%
22 心理アセスメントの代表的な方法を理解し、査定(実施、解釈、フィードバックなど)をおこなう	35.2%	20.4%	44.4%	43.8%	12.5%	43.8%	41.4%	16.0%	42.5%
23 カウンセリング、心理療法の基礎的な技法・態度を身につけ、心理面接をおこなう	40.7%	3.7%	55.6%	43.8%	6.3%	50.0%	40.9%	12.2%	47.0%
24 心理学の知識に基づき、集団、コミュニティに関わり、支援する	37.0%	9.3%	53.7%	37.5%	6.3%	56.3%	28.7%	18.2%	53.0%
25 社会、文化、個人などの観点で、人々の多様性を尊重する	25.9%	37.0%	37.0%	31.3%	25.0%	43.8%	21.5%	42.5%	35.9%
26 心理学研究における研究協力者の権利保護などの倫理問題を理解し、実践する	24.1%	48.1%	27.8%	31.3%	31.3%	37.5%	33.1%	36.5%	30.4%
27 対人支援における倫理問題を理解し、実践する	40.7%	24.1%	35.2%	31.3%	18.8%	50.0%	34.3%	27.1%	38.7%

注) 重要度 0=回答なし、1=身につけておいた方がよい、2=必ず身につけるべき

(b)修士課程

	国立大学(n=55)			公立大学(n=6)			私立大学(n=102)		
	重要度			重要度			重要度		
	0	1	2	0	1	2	0	1	2
1 心理学の基礎的概念や主要な理論を理解する	7.3%	80.0%	12.7%	0.0%	50.0%	50.0%	12.7%	69.6%	17.6%
2 心理学の理論と方法論の発展を理解する	12.7%	63.6%	23.6%	33.3%	33.3%	33.3%	13.7%	65.7%	20.6%
3 人々は多様であり、心の働きが集団や文脈によって異なることを理解する	14.5%	56.4%	29.1%	16.7%	33.3%	50.0%	12.7%	62.7%	24.5%
4 個人・社会における心理・行動の理解や問題解決に、個人的経験や疑似科学ではなく、心理学の概念や理論を用いる	16.4%	67.3%	16.4%	16.7%	33.3%	50.0%	14.7%	65.7%	19.6%
5 人が陥りやすい誤りやバイアスの種類(確証バイアス, 相関と因果の混同など)を学び、それに陥らない批判的思考を行う	18.2%	61.8%	20.0%	33.3%	33.3%	33.3%	17.6%	58.8%	23.5%
6 変数の操作的定義に基づいた検証可能な研究仮説をつくる	10.9%	80.0%	9.1%	16.7%	33.3%	50.0%	13.7%	65.7%	20.6%
7 心理学的な根拠が明確な先行文献を検索する	5.5%	81.8%	12.7%	33.3%	33.3%	33.3%	11.8%	75.5%	12.7%
8 心理学の日本語専門雑誌論文を読む	3.6%	83.6%	12.7%	33.3%	33.3%	33.3%	10.8%	80.4%	8.8%
9 心理学の英語専門雑誌論文を読む	7.3%	69.1%	23.6%	33.3%	16.7%	50.0%	11.8%	53.9%	34.3%
10 実験や調査結果の表やグラフを作成する, 読み取る	9.1%	78.2%	12.7%	33.3%	33.3%	33.3%	9.8%	75.5%	14.7%
11 推測統計(t検定, F検定等)を理解し, 分析をする	7.4%	77.8%	14.8%	33.3%	33.3%	33.3%	11.8%	68.6%	19.6%
12 多変量解析(因子分析など)を理解し, 分析をする	10.9%	58.2%	30.9%	33.3%	16.7%	50.0%	11.8%	59.8%	28.4%
13 実験研究を, そのデザインや測定の妥当性について理解した上で実施する	10.9%	70.9%	18.2%	33.3%	33.3%	33.3%	11.8%	61.8%	26.5%

(次ページに続く)

第2回「大学における心理学教育調査」報告書（教育研究委員会・調査小委員会）

	国立大学(n=55)			公立大学(n=6)			私立大学(n=102)		
	重要度			重要度			重要度		
	0	1	2	0	1	2	0	1	2
14 アンケート調査を立案し、実施、分析する	14.5%	58.2%	27.3%	33.3%	33.3%	33.3%	10.8%	62.7%	26.5%
15 研究に必要なITスキル(コンピュータ活用能力)を身につける	12.7%	61.8%	25.5%	33.3%	33.3%	33.3%	11.8%	56.9%	31.4%
16 証拠に基づいてレポートを論理的にまとめる	9.1%	81.8%	9.1%	16.7%	50.0%	33.3%	10.8%	78.4%	10.8%
17 議論や発表のためのコミュニケーションスキルを身につける	5.5%	80.0%	14.5%	33.3%	33.3%	33.3%	8.8%	74.5%	16.7%
18 『心理学研究』など学会誌の執筆要項に基づき論文を書く	7.3%	60.0%	32.7%	50.0%	33.3%	16.7%	12.7%	59.8%	27.5%
19 APAマニュアルに基づく英語論文を書く	25.5%	32.7%	41.8%	66.7%	0.0%	33.3%	36.3%	7.8%	55.9%
20 心理学の知識を自己理解や自己管理、自分の成長に生かす	27.3%	47.3%	25.5%	50.0%	33.3%	16.7%	12.7%	56.9%	30.4%
21 心理学の知識と経験を、自身の進路、キャリア開発に活用する	20.0%	43.6%	36.4%	66.7%	16.7%	16.7%	11.8%	58.8%	29.4%
22 心理アセスメントの代表的な方法を理解し、査定(実施、解釈、フィードバックなど)をおこなう	23.6%	45.5%	30.9%	50.0%	16.7%	33.3%	21.6%	54.9%	23.5%
23 カウンセリング、心理療法の基礎的な技法・態度を身につけ、心理面接をおこなう	25.5%	34.5%	40.0%	50.0%	16.7%	33.3%	22.5%	54.9%	22.5%
24 心理学の知識に基づき、集団、コミュニティに関わり、支援する	23.6%	32.7%	43.6%	33.3%	33.3%	33.3%	15.7%	45.1%	39.2%
25 社会、文化、個人などの観点で、人々の多様性を尊重する	29.1%	43.6%	27.3%	16.7%	33.3%	50.0%	14.9%	53.5%	31.7%
26 心理学研究における研究協力者の権利保護などの倫理問題を理解し、実践する	12.7%	69.1%	18.2%	33.3%	33.3%	33.3%	9.8%	76.5%	13.7%
27 対人支援における倫理問題を理解し、実践する	25.5%	56.4%	18.2%	16.7%	16.7%	66.7%	17.6%	58.8%	23.5%

注) 重要度 0=回答なし、1=身につけておいた方がよい、2=必ず身につけるべき

※前回との比較

- ・ 公立・私立大学は前回の調査のばらつきと類似した重要度の分布となっている。
 - ・ 公立大学は 0, 1, 2 どれも均等に近く分布している。
 - ・ 私立は 0 の項目が他の項目に比べて大きな割合を占めている。
- ・ 国立のみ前回の分布とは類似しておらず、0 の項目が少なかった。

7. 授業の実施形態

(a) 学士課程(N=252)

授業形態	国立大学 (n=53)	公立大学 (n=15)	私立大学 (n=175)	その他/欠損値 (n=9)	計
講義	53	15	175	9	252
ゼミ	53	14	164	9	240
教員の個別指導	51	13	152	9	225
実験・調査実習	51	12	160	9	232
インターンシップ(現場実習)	30	8	112	9	159
教員のプロジェクトに参加する授業	28	7	68	9	112
上級生による指導や参加者同士が教え合う授業)	33	9	100	9	151
すべて英語で実施している授業	20	4	34	9	67

(b) 修士課程(N=163)

授業形態	国立大学 (n=55)	公立大学 (n=7)	私立大学 (n=101)	その他/欠損値 (n=0)	計
講義	53	7	100	—	160
ゼミ	55	6	98	—	159
教員の個別指導	54	6	97	—	157
実験・調査実習	43	4	83	—	130
インターンシップ(現場実習)	32	4	81	—	117
教員のプロジェクトに参加する授業	34	4	45	—	83
上級生による指導や参加者同士が教え合う授業)	37	5	66	—	108
すべて英語で実施している授業	20	2	12	—	34

7. 設置形態別・日本の大学における心理学の授業形態

(a) 学士課程

授業形態	なし	少し(30%未満)の授業	約半数の授業	大半(60%より多く)の授業	全ての授業	計
講義	0	5	30	18	0	53
ゼミ	0	37	16	0	0	53
教員の個別指導	2	37	4	0	1	44
実験・調査実習	2	44	5	0	0	51
インターンシップ(現場実習)	23	25	1	0	0	49
教員のプロジェクトに参加する授業	25	22	0	0	0	47
上級生による指導や参加者同士が教え合う授業)	20	23	3	0	0	46
すべて英語で実施している授業	33	13	0	0	0	46

公立大学(n=15)

授業形態	なし	少し(30%未満)の授業	約半数の授業	大半(60%より多く)の授業	全ての授業	計
講義	0	3	2	6	4	15
ゼミ	1	12	0	0	0	13
教員の個別指導	2	10	0	0	0	12
実験・調査実習	3	9	0	0	0	12
インターンシップ(現場実習)	7	5	0	0	0	12
教員のプロジェクトに参加する授業	8	4	0	0	0	12
上級生による指導や参加者同士が教え合う授業)	6	6	0	0	0	12
すべて英語で実施している授業	11	1	0	0	0	12

私立大学(n=175)

授業形態	なし	少し(30%未満)の授業	約半数の授業	大半(60%より多く)の授業	全ての授業	計
講義	0	8	41	110	16	175
ゼミ	11	134	15	1	2	163
教員の個別指導	23	124	7	1	5	160
実験・調査実習	15	142	5	1	0	163
インターンシップ(現場実習)	63	91	0	0	0	154
教員のプロジェクトに参加する授業	107	48	0	1	0	156
上級生による指導や参加者同士が教え合う授業)	75	77	3	1	0	156
すべて英語で実施している授業	141	13	0	0	0	154

(b)修士課程

国立大学(n=55)						
授業形態	なし	少し(30%未満)の授業	約半数の授業	大半(60%より多く)の授業	全ての授業	計
講義	2	24	20	8	1	55
ゼミ	0	29	13	12	1	55
教員の個別指導	1	42	7	3	2	55
実験・調査実習	12	29	8	2	0	51
インターンシップ(現場実習)	23	24	3	1	0	51
教員のプロジェクトに参加する授業	21	25	4	1	0	51
上級生による指導や参加者同士が教え合う授業)	18	23	5	3	1	50
すべて英語で実施している授業	35	15	0	0	0	50

公立大学(n=7)						
授業形態	なし	少し(30%未満)の授業	約半数の授業	大半(60%より多く)の授業	全ての授業	計
講義	0	2	2	1	2	7
ゼミ	1	3	2	0	0	6
教員の個別指導	1	5	1	0	0	7
実験・調査実習	3	3	0	0	0	6
インターンシップ(現場実習)	3	2	0	1	0	6
教員のプロジェクトに参加する授業	3	3	0	0	0	6
上級生による指導や参加者同士が教え合う授業)	2	3	0	1	0	6
すべて英語で実施している授業	5	1	0	0	0	6

私立大学(n=101)						
授業形態	なし	少し(30%未満)の授業	約半数の授業	大半(60%より多く)の授業	全ての授業	計
講義	1	32	37	27	2	99
ゼミ	3	56	23	12	4	98
教員の個別指導	4	66	11	14	5	100
実験・調査実習	18	64	11	2	1	96
インターンシップ(現場実習)	20	51	17	5	0	93
教員のプロジェクトに参加する授業	56	37	1	1	1	96
上級生による指導や参加者同士が教え合う授業)	35	51	5	3	0	94
すべて英語で実施している授業	89	7	0	0	0	96

※前回との比較

・前回は講義が授業形態の半数以上を占めていたが、今回の調査では学士修士共に、実践形式の授業形態も均等に実施されている。

8. 取得できる資格

資格	学部レベルプログラム(N=252)				計	修士課程レベルプログラム(N=163)				計
	国立大 学 (n=54)	公立大 学 (n=16)	私立大 学 (n=181)	その他 (n=1)		国立大 学 (n=55)	公立大 学(n=7)	私立大 学 (n=101)	その他 (n=0)	
プログラム設置数	40	7	134	1	182	32	4	77	—	113
公認心理師	18	3	66	1	88	22	3	68	—	93
認定心理士	3	0	11	0	14	3	0	10	—	13
認定心理士(心 理調査)	1	0	3	0	4	1	1	40	—	42
社会調査士	2	0	2	0	4	7	0	21	—	28
専門社会調査士	1	0	6	0	7	1	0	4	—	5
学校心理士(准 学校心理士)	6	0	9	0	15	3	0	6	—	9
臨床発達心理士	3	1	11	0	15	4	1	11	—	16
臨床心理士	18	3	62	0	83	22	3	66	—	91

注)「プログラム設置数」とは、リストアップした資格のうち1つ以上を取得可能な大学数のことである。

※前回との比較

- ・学部レベルから資格に対応するプログラムが増加している。

9. 学生数，女性・留学生の割合*

*この設問は、大学全体の学生数や女性/留学生比率と誤認していると思われる回答が少なからずあったため集計せず。

10. 卒業生・修了生の進路（心理学の専門を生かした職に就いた学生の割合）

(a) 学士課程(N=252)

心理学の専門職に就いた学生	0%	0%ではない ～50%未満	50%以上 100%未満	100%	欠損値	計
国立大学	22	25	2	0	5	54
公立大学	13	1	0	0	2	16
私立大学	97	56	0	0	28	181
その他	0	0	0	0	1	1
計	132	82	2	0	36	252

上記以外で、広い意味で心理学の 専門性を生かした職に就いた学生	0%	0%ではない ～50%未満	50%以上 100%未満	100%	欠損値	計
国立大学	11	24	12	0	7	54
公立大学	7	6	0	0	3	16
私立大学	38	90	19	3	31	181
その他	0	0	0	0	1	1
計	56	120	31	3	42	252

(b) 修士課程(N=163)

心理学の専門職に就いた学生	0%	0%ではない ～50%未満	50%以上 100%未満	100%	欠損値	計
国立大学	16	13	13	8	5	55
公立大学	3	0	2	1	1	7
私立大学	19	14	44	16	8	101
その他	—	—	—	—	—	—
計	38	27	59	25	14	163

上記以外で、広い意味で心理学の 専門性を生かした職に就いた学生	0%	0%ではない ～50%未満	50%以上 100%未満	100%	欠損値	計
国立大学	14	16	13	5	7	55
公立大学	5	0	0	1	1	7
私立大学	31	29	18	10	13	101
その他	—	—	—	—	—	—
計	50	45	31	16	21	163

※本調査全体に関する集計担当者のコメント

- ・ 1.の所属大学形態を回答する設問は、短期大学の回答が各選択肢に分散していました。前回調査同様、短期大学用の選択肢を増やした方がより正確にデータを集計できると思われます。同様に、教職課程、一般教養のみ心理学の授業がある大学等も分別できると、その後の設問においてもより正確な報告書が作成できると思われます。
- ・ 3.の教員数を回答する設問は、心理学課程の教員数ではなく、学部（研究科）全体の教員数を回答しているように思われる回答が少数ですがあるように思えます。質問文により強調して心理学課程のみの教員数を回答することを明示する方がより正確なデータが得られると思ひます。
- ・ 9.の学生数、女性、留学生の割合を回答する設問は、3.同様、学部（研究科）全体の学生数を答えている回答が少なからず見られたため、あえて集計結果を報告しませんでした。
- ・ 総じて、紙筆版の調査票のこれ以上の洗練は難しいかと思ひますが、Web 調査は有料サービス（例えば **Qualtrics**）を利用することでより答えやすいインタフェースを構築することが可能です。今後も同様の調査を（他の委員会も含め）ある程度実施するのであれば、基本的インフラとして導入をご検討いただければ幸いです。
- ・ 国際比較調査の制約を受けている部分で日本の大学教育の現状にあまり合わない項目が多くあり、調査小委員会で調査票デザインをした際も大いに議論になりました。結果的に答えにくさにつながり、協力率の少なさや集計結果の解釈の難しさにつながっている点は否めないと思われます。小委員会レベルの独断では項目の取捨選択をすることが難しいので、次回実施時には常務理事会での十分な事前検討と明確なご指示をお願いしたいところではす。